

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	第一学習社 『高等学校 標準言語文化』				
副教材等	第一学習社 『標準言語文化 学習課題集』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をとおして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をとおして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をとおして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進路希望が多岐にわたっていることから、

- (1) 基本的な言語事項の習得を重視し、特に漢字や語彙の確実な習得を目指します。
- (2) 文章を的確に理解した上で、自分の感じ方や考え方を確立させることを目指します。
- (3) さらにそれらを的確に表現し、他者と円滑にコミュニケーションを図る態度を目指します。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ ・定期考査の分析 ・提出物などの内容確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期考査の分析 ・授業中の発言の観察 ・提出物などの内容の確認 ・ワークシートの記述の分析 などから評価します。	以上の観点を踏まえ ・授業中の観察 ・提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。

各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	小説を読む (1)	三浦哲郎「とんかつ」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品に表れているものの見方、感じ方を捉え、内容を解釈する。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	6	ワークシート（記述の点検） a、b、c 授業中の発言等 c
5	詩の楽しみ	高村光太郎「道程」 谷川俊太郎「二十億光年の孤独」	・近代詩の表現の技法とその効果について理解する。 ・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。	5	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（記述の分析） b
6	定期考査			1	a、b
6	古典入門	古典の学習 宇治拾遺物語「児のそら寝」 古文を読むために1、2	・歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話の面白さを伝え合おうとしている。	7	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（基礎知識の確認） a、c
7	漢文入門	漢文の学習 訓読に親しむ（一）	・訓読の基本的な決まりを理解する。	2	ワークシート（記述の点検） a、b、c
7	定期考査			1	a、b
7		漢文を読むために1 訓読に親しむ（二） 漢文を読むために「矛盾」	・我が国の文化と外国の文化について理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、分かった内容を工夫してまとめようとしている。	6	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（基礎知識の確認） a、c

	8 9	小説を読む (2)	芥川龍之介 「羅生門」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・老婆が語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	7	ワークシート（記述の点検） a、b、c 授業中の発言等 c
	10	古文に親しむ	古文を読む ために3	・動詞の活用について、文語の決まりを覚える。 ・用言の活用を理解し、学習の見通しをもって変格活用動詞の活用表を作製しようとしている。	4	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（基礎知識の確認） a、c
		定期考査			1	a、b
		古文に親しむ	「なよ竹のかぐや姫」	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って心情描写の特色を捉えようとしている。	5	ワークシート（記述の点検） a、b、c
		漢文入門	漢文に親しむ（三） 漢文を読む ために3	・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を理解する。	5	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（基礎知識の確認） a、c
		故事成語	「蛇足」	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	3	ワークシート（記述の点検） a、b、c ワークシート（基礎知識の確認） a、c
		定期考査			1	a、b
	12	短歌と俳句	「清水へ」	・短歌の表現と技法と、その効果について理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、理解する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を理解しようとしている。	5	ワークシート（記述の点検） a、b、c 授業中の発言等 c

1	随筆を読む (二)	徒然草 「高名の木 登り」「神無 月のころ」	・文語の決まりを理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、 内容や展開を的確に捉える。 ・本文中に表れた 作者の批判・教訓・ 感動などを積極的に読み取り、考えた ことを伝え合おうとしている。	7	ワークシート (記述の点検) a、b、c ワークシート (基礎知識の確認) a、c
	定期考査			1	a、b
	漢詩の鑑賞	「静夜思」 「春望」	・近体詩、杜甫、李白について学ぶ。 ・漢詩を鑑賞して自分の物の見方を深 める。	3	ワークシート (記述の点検) a、b、c ワークシート (基礎知識の確認) a、c

計 70 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 10 時間	B「読むこと」 古典 40 時間 近代以降 20 時間
-----------------	------------------	-----------------------------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

7 課題・提出物等

- ・各単元のはじめに語句調べの課題に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各単元が終了した際に、副教材「学習課題集」に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各定期テストの際に、ノートを提出し点検を受けます。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「言語文化」は「現代の国語」とあわせて、すべての国語の教科の基礎となる科目です。漢字や語句を丁寧に習熟し、確かな基礎力を身に付けましょう。そのためには、教科書をしっかり読む、授業をしっかりと聞く、ノートをしっかりと取ることが重要です。意欲を持って取り組んでください。

(担当：山口・岡本)